

# 1. 超深地層研究所計画

## (1) 概要

超深地層研究所計画においては、地質環境を理解するための体系的な調査・解析・評価技術の研究開発や、深地層における掘削などの基盤的な技術の研究開発を行います。この計画は、瑞浪市から借用した東濃研究学園都市インターガーデン内の市有地（瑞浪超深地層研究用地）と瑞浪市内のサイクル機構所有地（正馬様用地）で進めています。

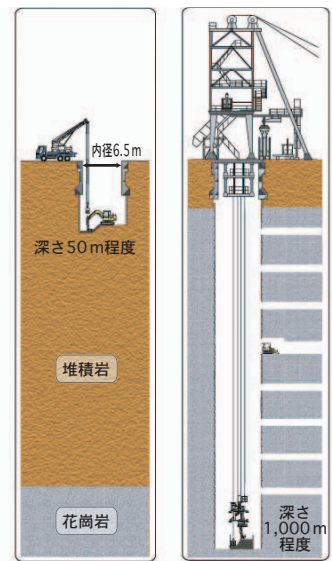
瑞浪超深地層研究所では深さ1,000m程度の立坑や水平坑道などを設置し、おもに花崗岩を対象として断層および割れ目の性状や分布、地下水の流れや水質、岩盤の強さなどを調べたり、地下深部の坑道を安全かつ合理的に設計・施工し、維持・管理するための研究開発を行います。計画は大きく3つの段階に分けて進めていきます。

また、正馬様用地では既存のボーリング孔などを用いて断層周辺の地下水の研究などを行います。

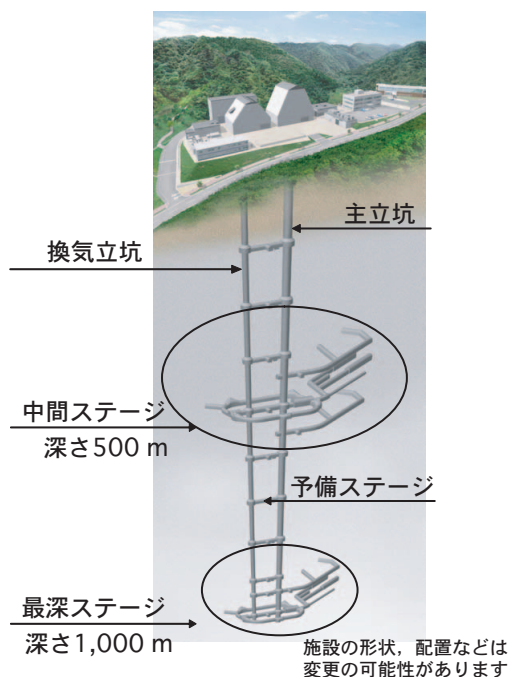
年度	2000	2010	2020
調査・研究			
第1段階	【地表からの調査予測研究段階】		
第2段階		【研究坑道の掘削を伴う研究段階】	
第3段階	【研究坑道を利用した研究段階】		
施設計画			
造成工事			
立坑基礎部・立坑の掘削			
中間・最深ステージ掘削			

超深地層研究所計画におけるスケジュール

2004年度 2009年度頃



主立坑掘削のイメージ



瑞浪超深地層研究所イメージ



瑞浪超深地層研究所の様子（平成16年3月撮影）